

4 個別の教育支援計画と個別の指導計画の様式例

(1) 通常の学級に在籍する児童生徒の記入例

ア 小・中学校の通常の学級に在籍する児童生徒の記入例

自閉症<中学校1年生のケース>	18
学習障害<小学校4年生のケース>	20
注意欠陥多動性障害<小学校1年生のケース>	22

イ 高等学校に在籍する生徒の記入例

自閉症<2年生のケース>	24
学習障害<2年生のケース>	26
注意欠陥多動性障害<1年生のケース>	28

(2) 小・中学校特別支援学級に在籍する児童生徒の記入例

知的障害<小学校4年生のケース>	30
肢体不自由<小学校4年生のケース>	32
病弱・身体虚弱<小学校6年生のケース>	34
弱視<小学校3年生のケース>	36
難聴<小学校4年生のケース>	38
自閉症・情緒障害<小学校5年生のケース>	40
自閉症・情緒障害<中学校2年生のケース>	42

(3) 特別支援学校に在籍する児童生徒の記入例

視覚障害<小学部1年生のケース>	44
聴覚障害<中学部1年生のケース>	46
知的障害<高等部1年生のケース>	48
肢体不自由<高等部2年生のケース>	50
病弱<中学部1年生のケース>	52

自閉症 中学校 1 年生（通常の学級）のケース
--

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の教育支援計画

【〇〇中学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	1年 ○組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・読書好きで、文章を読むことは得意である。 ・内容が分かり、少ない量であれば、課題や宿題に真面目に取り組むことができる。 ・自ら積極的にコミュニケーションを図ろうとすることは少ないものの、仲の良い友達とは、昼休みに卓球を楽しむなどの関わりがある。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の形を整えて書くことや文章を考えながら書くことが苦手である。 ・特に時間割の変更など予期しないことや新しいことへの不安感が強く、過度なストレスを感じやすい。 ・休日などは、外出することがなく、家にいることが多い。 			
本人・保護者の 願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを落ち着けて、学習活動に参加したい。 ・中学校卒業後の進路は具体的には未定であるが、公立高校へ進学したいと思っている。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・本人ができることを増やしてほしい。 ・友達と仲良く生活し、行事などの活動にも参加できるようになってほしい。 ・公立高校へ進学してほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を掲示物等で示したり、変更に関することは色分けしたりして視覚的に分かりやすく提示する。 <p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動量を調整したり、本人が活動を選択する場面を設定したりして、意欲的に活動に取り組めるようにする。 ・本人の負担にならない程度にワークシートを使って書く量を減らす等、作業の量を調整する。 <p>①-2-2 学習機会や体験の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等、集中できるように別室で受けられるようにする。 <p>①-2-3 心理面・健康面の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを落ち着けるためのクールダウンスペースを準備しておく。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを落ち着けて、学習活動に取り組む。 ・見通しをもって、体育大会や修学旅行等の行事に参加する。 				
関係機関との 連 携	特別支援教育巡回相談 (担当〇〇：年2回、進路指導の助言)				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

年 月 日 保護者氏名

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇中学校】

学年・組	1年 〇組	本人 ^{かりがな} 氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書好きで、文章を読むことは得意であり、国語の時間の初読が得意である。 ・授業中は手遊びしている様子も見受けられるが、大幅に授業から外れることはなく教員の指示を聞いて学習活動を進めることができる。 ・内容が分かり、少ない量であれば、課題や宿題に取り組むことができる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場の雰囲気を読み取るのが苦手で、会話が成立しないことがある。 ・集団のざわつきが苦手で、注意が逸れてしまうことがある。 ・特に時間割の変更など予期しないことや新しいことへの不安感が強く、過度なストレスを感じやすい。 ・集団場面などでは突然泣き出すことが見られる。 		
短期目標 (期間：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 1 クールダウンスペースの利用を自分から申し出て、気持ちを落ち着かせることができる。 2 体育大会等の学校行事では、自分の出番に参加することができる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過度なストレスが見られた際は、教員側からクールダウンスペースの活用を促す。 ・落ち着いた後、解決の方法等を話し合う。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の負担にならない程度に、練習の段階から参加できる場面を教員と事前に決めて参加できるようにする。 ・参加できた活動について振り返り、達成できたところを褒め、成就感を味わえるようにする。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初は、教員から促され、クールダウンスペースに行っていた。クールダウンした後に、教員との話し合いの中で、自分で原因などを振り返ることができた。その状況の回避の仕方について、学ぶことができ、自分からクールダウンスペースの利用を伝えることができるようになってきた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会の合同練習において、最初は学年種目など学年単位での練習に参加した。全校合同の練習の前には、毎回、担任と話し合って参加する部分を決めて練習に参加した。体育大会当日には、開閉会式では一部参加であったものの、徒競走や応援合戦、ラジオ体操等の全校での活動には参加することができた。 		
作成者	<p>学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____</p>		

個別の教育支援計画

【〇〇小学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	4年 ○組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・習い事（水泳教室）は休まず通っている。 ・テレビアニメが好きで、詳しく知っている。 ・友達との関係は良好であり、休み時間には一緒に遊んでいる。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・字形が崩れやすく、板書に時間がかかる。 ・音読では、たどたどしい読み方をする。 			
本人・保護者の 願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・上手く字が書けるようになりたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことを嫌がらずに取り組んでほしい。 ・音読ではすらすら読めるようになってほしい。 			
合理的配慮	<ul style="list-style-type: none"> ①-1-2 学習内容の変更・調整 <ul style="list-style-type: none"> ・文章の読む量や書く量を減らすなど負担にならない程度に調整する。 ①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・単語のまとまりが分かりやすいように補助線を引いたり、文節ごとに区切ったりする。 ②-1 専門性のある指導体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・通級指導教室と連携し、指導の充実を図る。 				
長期目標 (期間：1年)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学習する漢字の7割を書くことができる。 ・自分で工夫しながら、スムーズに音読できる。 				
関係機関との 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇小学校通級指導教室（担当〇〇：週1回、個別の読み書きの指導） ・水泳教室（担当〇〇：週1回、情報共有） 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇小学校】

学年・組	4年 〇組	本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育係では、係活動を忘れることなく、進んでうさぎ小屋の掃除をしている。 ・テレビアニメが好きで、休み時間などアニメのキャラクターを描いていることが多い。 ・課題には最後まで取り組み、宿題も忘れずにやってくる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字を使わずに文章を書いている。 ・音読では、たどたどしい読み方をする。 		
短期目標 (期間:1年)	<p>1 漢字の小テストで7割以上書くことができる。</p> <p>2 補助線や文節ごとの区切りをもとに、声を出して文章を読むことができる。</p>		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級指導教室で作成した「漢字ポイントカード(漢字を覚えるためのコツ)」を国語の授業でも活用して、漢字を書くようにする。 ・漢字の小テストでは、書き出し位置に印を付ける。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の単語に補助線を入れたり、文節ごとに区切ったりする。 ・声を出して文章を読んだときには、十分に称賛する。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級指導教室の教員と一緒に作ったイラスト入りの「漢字ポイントカード」を授業内で活用することにより、自分で考えたコツを思い出せるようになり、カードを見なくても正しく書ける漢字が増えてきた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を音読する前には、自分から補助線を引くようになった。補助線や文節ごとの区切りを手がかりにしたことによって、自信をもって音読することができるようになってきた。学校の取組を家庭へ伝え、保護者からも称賛されたことにより、家庭でも音読するようになってきた。 		
作成者	学級担任:	特別支援教育コーディネーター:	

注意欠陥多動性障害
小学校1年生（通常の学級）のケース

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の教育支援計画

【〇〇小学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	1年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や体を動かす活動が好きである。 ・人と関わることが好きで、積極的に話しかけたりお手伝いをしたりすることができる。 ・放課後〇〇会の活動や地域の行事に進んで参加している。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の立ち歩きがある。 ・待つことや長い時間集中することが苦手である。 ・感情のコントロールが苦手である。 			
本人・保護者の 願い	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良く遊びたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐ感情的にならずに話を聞けるようになってほしい。 ・落ち着いて行動できるようになってほしい。 ・同じ学年の友達と一緒に勉強したり遊んだりしてほしい。 			
合理的配慮	<p>①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールや約束を視覚的に伝える。 <p>①-2-2 学習機会や体験の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなものと関連付け、興味・関心をもてるように学習内容を工夫したり、体を使った活動を取り入れたりする。 <p>①-2-3 心理面・健康面の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の受容的な雰囲気づくりをする。 ・必要に応じて休憩時間を設定する。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの授業で、最後まで学習に参加することができる。 ・感情のコントロールができ、友達と仲良く生活することができる。 				
関係機関との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇クリニック受診（〇〇医師：定期通院、学校や生活面での助言、服薬有り） ・放課後〇〇会（担当〇〇：週2回利用、情報の共有） ・特別支援教育巡回相談（担当〇〇：年2回、指導の手立ての助言） 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

年 月 日 保護者氏名

㊞

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇小学校】

学年・組	1年 〇組	本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話すことが得意なので、元気な声で発表することができる。 ・電車が好きで、友達と電車の話をしたり、図鑑を見たりしている。 ・朝マラソンを頑張っている。 <p>つまずいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語や算数の授業では、教室を立ち歩くことが多く、時に教室外に出ることがある。 ・友達と身体がぶつかったり、友達を不快にさせる言葉を発したりして、友達とトラブルになることがある。 		
短期目標 (期間：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業では、自分が決めた課題に取り組み、机上で学習できる。 2 友達とけんかになった際、気持ちを落ち着け、自分の思いを言葉で伝えることができる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に取り組む内容や順番を決めることができるようにする。 ・机の上に見える所に本人の活動の流れを掲示して、見通しがもてるようにする。 ・達成できたことを大いに称賛し、視覚的に確認できるようシールなどを活用する。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを落ち着かせる方法（深呼吸をする、目をつむる）を知らせ、自分に合う方法を習慣化できるようにする。 ・トラブルになった状況について振り返り、教員と一緒に適切な言葉を伝える場面を設定する。 ・1回でもできたことを称賛し、自信をもてるようにする。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を自分で決める場面を授業中に複数回設定することにより、集中して学習に取り組めるようになり、教室の外へ出ることはなくなった。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルになった時、深呼吸をして気持ちを落ち着けている場面が見られるようになった。また、どんなことを言ったのか自分で振り返り、どのような言葉が良かったのか教員と一緒に考えることができようになった。 		
作成者	学級担任：	特別支援教育コーディネーター：	

自閉症
高等学校2年生のケース

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の教育支援計画

【〇〇高等学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	2年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・読書が好きである。 ・アニメ番組を視聴しており、せりふを記憶している。 ・定期試験では高得点を獲得する。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいことへの不安感があり、ストレスに感じることが多い。 ・物語の心情の読み取りや感想文が苦手である。 ・人前で発言することや発表することが苦手である。 			
本人・保護者の願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・親元から離れて生活したい。 ・就職したい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で生活するために、自分でできることを増やしてほしい。 ・就職して自立してほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書く学習場面では、事実のみを記述できるようワークシートを工夫する。 <p>①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事や大事な日程がある前日にメモを提示する。 <p>③-2 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを落ち着けるための場所を確保する。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けて、就労に必要な力を身に付ける。 ・多くの人と関わることができる。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所〇〇 (担当〇〇：就労実習8月実施、情報共有) ・〇〇病院 (〇〇医師：月1回通院、学校や生活面での助言、服薬有り) 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

年 月 日 保護者氏名

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇高等学校】

学年・組	2年 〇組	本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無遅刻・無欠席である。 ・物事に集中して取り組めるため、教科全般にわたって成績が良い。 ・「聞く」よりも「見る」ほうが情報が伝わる。 ・頼まれた仕事を指示通りに確実に行うことができる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・返事が苦手である。 ・集団の中で孤立する場面が目立つ。 ・新しいことへの不安感が強く、ストレスを感じやすい。 ・自分の体調や気持ちを伝えずに我慢することがある。 		
短期目標 (期間：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分の体調や気持ちを伝えることができる。 2 挨拶する対象者を増やしたり、課題終了の報告をしたりすることができる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔が赤くなる・肩が震える・うつむく等の状況が見られた場合、教員側から落ち着ける場所の活用を促す。落ち着ける場所はトイレ、ロッカー、ロビー、保健室の4箇所とする。 ・落ち着ける場所を活用後に担当者と面談し、今後の活用の仕方について話し合う時間を設ける。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶する対象者は赤いネームプレートを目印にする。少しずつ対象者の人数を増やしていく。 ・課題終了の報告を忘れないよう、視覚的に分かりやすい確認カードを用意する。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着ける場所の利用は4月から通算7回であった。うち3回は授業担当者に自分から申し出ることができた。「我慢した」ことが数回あったと自分から話せるようになった。また、「我慢できなかった」ため、突然教室から飛び出したことを反省している。 ・担当者との面談では緊張や不安の原因を記録し、振り返ることで自らの課題を確認することができた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶する人を分かりやすく記号化することで、迷わずに挨拶することができ、多くの教員と関わることができた。 ・課題終了後に報告ができるようになった。ただし、確認カードを使わないと終了の報告を忘れることが数回見られた。 		
作成者	<p>学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____</p>		

個別の教育支援計画

【〇〇高等学校】

本人氏名 <small>ふりがな</small>		性別		生年月日	
保護者氏名 <small>ほごしゅしめい</small>		学年・組	2年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことが好きであり、特にテニスが得意である。 ・時間を守って活動することができる。 ・友達と協力しながら積極的に活動に取り組むことができる。 ・家業のりんご栽培を手伝っている。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のページを指示しても周囲を確認してから行うことが多い。 ・音読では拗音の間違いが時々ある。 ・行を飛ばして読むことがある。 			
本人・保護者の願い	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後はりんごに関わる仕事をしたい。 ・集団の中で話せるようになりたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・農業について学べる上級学校に進学してほしい。 ・将来はりんご栽培を引き継いでほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業ではワークシートを活用し、文字や計算の情報量を調整する。 ・次の授業の学習内容について板書する。 <p>②-1 専門性のある指導体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校等の外部専門家からの助言を生かし、指導の充実を図る。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン等を活用して自分を表現することができる。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育巡回相談 (担当〇〇：年2回、指導の手立ての助言) ・書道教室 (担当〇〇〇：週1回、情報共有)。 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇高等学校】

学年・組	2年 〇組	本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻せず、毎日登校している。 ・休み時間や放課後を活用して教員と一緒に学習活動に取り組んでいる。 ・授業で分からないことや判断に悩むときは手を挙げて質問することができる。 ・清掃を丁寧に行うことができる。 ・テニス部に所属し、仲間と一緒に活動することができる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で挨拶することが苦手である。 ・板書に時間を要する。 ・自分の考えや気持ちを文章化することは苦手である。 		
短期目標 (期間:1年)	<p>1 授業の学習活動を確認しながら課題に取り組む。</p> <p>2 パソコンを活用し、文章を書くことができる。</p>		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れを提示する。 ・教科書のページは常に板書し、進度を示す。 ・教科書を読むときは、苦手な発音がある所は事前にゆっくりと丁寧に読み聞かせる。 ・ワークシートはフォント、文字サイズを統一し、場合によっては薄く下書きや罫線を入れる。 ・電子辞書の活用を認める。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中しやすい座席配置とする。 ・拗音や濁音、半濁音などのローマ字入力については板書する。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動を自分で確認することにより、発表が多くなり、課題にも取り組むようになってきた。 音読をする場面では、手立てを教員で共通理解したことにより、どの教科においても音読するようになってきた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊音節の入力は、一つ一つ確認することによって、確実に入力することができるようになってきた。 		
作成者	学級担任：	特別支援教育コーディネーター：	

注意欠陥多動性障害
高等学校1年生のケース

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の教育支援計画

【〇〇高等学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	1年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や身体を動かす活動が好きである。 ・人と関わることが好きで、積極的に話し掛けることができる。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・整理、整頓が苦手である。 ・長い時間集中することが苦手である。 ・感情のコントロールが苦手である。 			
本人・保護者の願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・高校を卒業したい。 ・一般の企業に就職をしたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことは自分でできるようになってほしい。 ・物事に最後まで取り組んでほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く量やパソコンの入力する量を調整する。 <p>①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出物を忘れないようメモ等の視覚情報を提供する。 <p>③-2 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを落ち着けるための場所を確保する。 				
長期目標 (期間:3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを落ち着けて、学習活動に取り組む。 ・高校卒業後、一般企業に就職する。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇クリニック受診 (〇〇医師:定期通院、学校や生活面での助言、服薬あり) ・〇〇会議 (担当:〇〇週1回、情報の共有) ・特別支援教育巡回相談 (担当〇〇:年2回、指導の手だての助言) 				
作成者	学級担任:		特別支援教育コーディネーター:		

年 月 日 保護者氏名

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇高等学校】

学年・組	1年 〇組	本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン入力や調理活動など実技のある教科は集中して取り組むことができる。 ・身体を動かすことが好きで、体育や部活動に積極的に取り組むことができる。 ・一つのことを集中してやり遂げることができる。 ・言葉掛けをすると、次の行動に移ることができる。 <p>つまずいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝坊による遅刻・欠席のため、学習の定着に時間がかかる。 ・気分がむらがあり、集中できる時間が短い。 ・課題に取り組むまでに時間がかかる。 ・指示されたことをすぐに忘れることがある。 ・提出物や課題等の書類を紛失することがある。 		
短期目標 (期間：1年)	<p>1 課題に取り組み、完成させることができる。</p> <p>2 不安になったときに気持ちを落ち着かせることができる。</p>		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書の内容や作業の手順などを視覚的に提示し、生徒がいつでも確認できるようにすることで見通しをもてるようにする。 ・指示した課題量を時間内で完成できるよう言葉掛けを行い、達成できたことを称賛する。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが落ち着くための方法を考え、自分に合う方法を習慣化できるようにする。 ・自分の行動について振り返る時間を設定し、何が良くなかったのか考えるように促して、どのように行動したら良いのかを確認する。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを提示することで次の活動が分かり、集中できる時間が多くなった。 ・課題の量を調整することにより、平均して8割の達成が見られたが、状況によっては目標に達しないときもあった。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて学校生活を送ることが多く見られるようになった。 		
作成者	<p>学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____</p>		

個別の教育支援計画

【〇〇小学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	4年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも明るく、友達と会話をしている。 ・アニメのキャラクターの絵本が好きである。 ・漢字練習に取り組み、2年生までの漢字をおおよそ書くことができる。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりは好きだが、上手く説明できなかつたり、聞き間違いがあつたりする。 ・マラソンは自分のペースでゆっくり走る。 ・計算が苦手で、10までの数は指を使って数える。 			
本人・保護者の願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・お友達と仲良く遊びたい。 ・跳び箱を跳べるようになりたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・生活で困らない程度の読み書きや計算ができるようになってほしい。 ・同年齢の子たちとたくさん関わってほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意の漢字を生かしつつ、基礎的・基本的な数についての内容を重点化するなど学習内容の変更・調整を行う。 <p>①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量の理解促進のため、カードや数え棒などの具体物やパソコンを活用する。 <p>①-2-3 心理・健康面への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力学級での友達関係を大事にし、グループ分けの配慮や活躍場面を設定する。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学習（特に数の扱い）を身に付け、日常生活に生かすことができる。 ・友達や教員と関わりをもちながら元気に学校生活を送る。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童デイサービス〇〇（担当〇〇：週3日、情報の共有） 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇小学校】

学年・組	4年 〇組	本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の国語の教科書を読むことができ、おおよその内容を理解することができる。 ・友達と会話や遊びを楽しむ。 ・遅れがちだが、周囲に合わせて行動することができる。 ・楽しみながら絵を描いたり、創作したりすることができる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10までの合成分解は指を使いながら正解するものの時間がかかる。 ・会話では、要点が抜けたり、5W1Hが曖昧になったりしやすい。 ・下学年の友達といることが多く、同学年の友達との遊びはあまり長続きしない。 ・小柄で筋力も弱いいため、運動は全般に苦手である。 		
短期目標 (期間:1年)	<p>1 10までの数の合成分解について、具体物を使わずに正解することができる。</p> <p>2 学級の友達とグループを組んで係活動をしたり、学習をしたりすることができる。</p>		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10の分解合成は数のブロックを活用する。 ・パソコンソフトを活用して、ブロックの移動や組み合わせの課題、フラッシュカードなどに取り組む。 ・数のブロックの掲示物や足し算引き算のパターン表など、視覚的な補助を多く取り入れる。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力学級担任と協力し、体育や校外活動、係活動などの場面において仲間作りとなるグループの編成をする。 ・必要に応じて、教員が本児の思いを代弁したり、グループの雰囲気作りをしたりするなどの支援をする。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10を「9と1」や「7と3」などに分解することが円滑にでき、指を使わず計算できるようになった。まとまりとして数を捉えられるようになったことで、定規やはかりの目盛りも早く読めるようになった。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力して給食当番や配達係の活動をし、友達と一緒に全体への言葉掛けもできた。 ・休み時間に、クラスの友達に誘われてマラソンや鬼ごっこをする姿が見られるようになった。 		
作成者	学級担任：	特別支援教育コーディネーター：	

肢体不自由教育
小学校4年生（特別支援学級）のケース

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の教育支援計画

【〇〇小学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	4年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・読書が好きであり、図書室から本を借りて読んでいる。 ・アイドルグループが好きで、協力学級の友達と話題にしている。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・集中しないと手拍子や行進を合わせることが難しい。 ・全体への指示が自分への指示でないと捉えることがある。 			
本人・保護者の願い	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強をもっと理解できるようになりたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることを増やしてほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片手での道具の操作ができるように補助机や道具を押さえるストッパー等を活用する。 <p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く量を調整する。 <p>②-3 災害時等の支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階に教室を配置し、避難しやすい経路を確保する。 <p>③-1 校内環境のバリアフリー化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室を特別教室の近くに配置する。 ・多目的トイレを使用できるようにする。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・左半身の緊張を自分で緩める運動の仕方を覚える。 ・学年相応の人との関わり方を身に付ける。 				
関係機関との連携	〇〇医療福祉センター（〇〇理学療法士：週1回の訓練、身体面の助言）				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

年 月 日 保護者氏名

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇小学校】

学年・組	4年 〇組	本人 ^{ふりがな} 氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ趣味の友達と会話を楽しむことができる。 ・自力で装具を身に付けることができる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を理解していないことがある。 ・指示を理解していないことがあり、周囲の様子を見てから行動に移すことがある。 		
短期目標 (期間：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 1 腕が緊張したときに自分から気付いて、腕の曲げ伸ばしをすることができる。 2 適切なコミュニケーションの方法を知り、人と関わることができる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を握ったり、離したりすることが難しくなった場合に、左腕の緩め方を指導する。 ・身体を使った活動をする前に左腕を緩めるように伝え、活動中は左腕が緊張していないか言葉掛けをする。 ・専門的な内容のため、専門機関と連携を図り、運動の仕方などを確認する。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事などを身に付けて自信をもてるようにする。 ・自分から話しかける相手を教員や特定の友達から広げていき、少数のグループや学級全体で発表する機会を設ける。 ・話しかけるときの手順や話し方をスモールステップで指導し、定着できるようにする。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左半身が緊張していると自分から左腕を動かす場面が多くなり、長い時間、集中して活動に取り組むことができるようになってきた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に話しかけるときは「ちょっと」や「あの」と呼びかけてから話すようになった。休み時間中、友達に依頼したり、質問したりすることが増えてきた。 		
作成者	学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____		

個別の教育支援計画

【〇〇小学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	6年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルの本を読むこと。 ・集中して課題に取り組むことができる。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の問題が苦手である。 			
本人・保護者の願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後も以前と同じような学校生活を送りたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・学習が遅れないように勉強してほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服薬管理や環境調整、病状に応じた対応等ができるようにする。 <p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気により実施が困難な学習内容等について、主治医からの指導・助言や学校生活管理指導表に基づいた変更・調整をする。 ・実施が困難な実験などは、視聴覚機器を活用する。 				
長期目標 (期間：退院まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の転出に向け、体調管理に努め、遅れが出ないように学習する。 ・治療に対する不安を軽減して生活する。 				
関係機関との連携	<p>〇〇病院（〇〇医師、〇〇看護師：情報の共有）</p> <p>〇〇小学校（入院前の在籍校担任：前籍校での学習状況、情報の共有）</p>				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇小学校】

学年・組	6年 〇組	本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字は十分に定着している。 本を読むことが好きで、読解力がある。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 点対称や線対称に苦手意識をもっている。 		
短期目標 (期間：退院まで)	<ol style="list-style-type: none"> 退院後の転出に向け、体調管理に努め、遅れが出ないように学習する。 治療に対する不安を軽減して、生活する。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 体調を考慮し、授業内容を変更する。 I C T機器を活用し、実施困難な内容の理解を補助する。 学習進度に遅れが出ないように、前籍校と随時連絡をとり確認する。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立活動の時間を活用し、入院生活や退院後の学校生活に対する不安を聞き取り、どのような対処方法や解決策があるかを整理し、不安を軽減する。 手紙の交換などを通して友達とのつながりを意識できるようにする。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習進度に遅れがでることなく進めることができた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院生活に対する不安を聞き取り、困った場面でどのようにすればよいかを一緒に考えたことで不安を軽減することができた。また、友達との手紙のやりとりを通して、退院して学校に行くことを楽しみにするようになり、リハビリや学習に取り組むことができた。 		
作成者	<p>学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____</p>		

弱視
小学校3年生（特別支援学級）のケース

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の教育支援計画

【〇〇小学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	3年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・歌を歌うことが好きである。 ・初めての物事にも意欲的に取り組むことができる。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・面倒だなと思うと「分からない」と答えることがある。 ・集中できる時間が短い。 			
本人・保護者の願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読めるようになりたい。 ・友達と買い物に行きたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・生活する力を身に付けてほしい。 ・基礎学力を身に付けてほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見えにくさを補うことができるように、視覚補助具の効果的な活用を促すための指導を行う。 <p>①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞くことで内容の理解につながる説明や資料、拡大コピーなど、見えにくさに応じた視覚的な情報の提供を行う。 <p>②-1 専門性のある指導体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校（視覚障害）のセンター的機能などによる専門的な助言を積極的に活用する。 ・眼科医のアドバイスを日常生活で必要な配慮に生かす。 <p>③-2 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーテンやスタンド等で採光の調整を行い、見えやすいように環境を整備する。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着を図る。 ・周囲の児童との関わりを通して、障害理解を図る。 				
関係機関との連携	<p>〇〇眼科医院（〇〇医師：定期通院） 特別支援教育巡回相談員（担当〇〇：指導の手立てや教材・教具の活用の助言）</p>				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

年 月 日 保護者氏名

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇小学校】

学年・組	3年 〇組	本人 ^が 氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字を覚えることが得意である。特に、筆順や画数クイズは全問正解することができる。 単眼鏡を使って黒板の掲示物を見て答えようがんばることができる。 市販のテストのように文字の小さなものであっても、はじめに少し読み聞かせたり、拡大したりすることにより一人で取り組めるようになっている。 点字表で文字を確かめる活動にはとても意欲的である。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ルーペを使って見るのが苦手である。 個別学習では、教員に対しての依存が強く、ヒントや答えを聞きたがることもある。 友達との集団活動をすることが苦手である。 		
短期目標 (期間：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 上手に教具を活用して学習に意欲的に参加することができる。 友達と一緒に当番活動をすることができる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 単眼鏡やタブレット端末を使って、黒板の板書や掲示物を見たり、実物を手で触ったりしながら学習を進めるようにする。 板書は、タブレット端末で写してノート作成し、大切な部分をマーカーで印を付ける。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> やり方や順序などを練習し、友達の手伝いをしながら一緒に活動する。 号令に合わせて挨拶をする練習をする。 分からないことがあるときには、友達の名前を呼んでから質問をして教えてもらう。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレット端末の使い方にも慣れ、意欲的に学習を進めるようになった。板書はタブレット端末を活用して記録し、ノート作成に役立っている。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食当番では、牛乳を配ることができた。 友達の声に合わせて一緒に挨拶ができるようになってきた。 		
作成者	学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____		

難聴
小学校4年生（特別支援学級）のケース

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の教育支援計画

【〇〇小学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	4年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描くことが好きである。 ・菓子作りが好きである。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・人前で話すことが苦手である。 ・運動することが苦手である。 			
本人・保護者の願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良くなりたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の生活を楽しんでほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮 ・聞こえにくさを補うことができるように、補聴器等の効果的な活用をするための指導を行う。</p> <p>①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮 ・聞こえにくさに応じた視覚的な情報の提供を行う。聞こえにくさに応じた聴覚的な情報・環境の提供を図る。</p> <p>①-2-2 学習機会や体験の確保 ・言語経験が少ないことによる、体験と言葉の結びつきの弱さを補うための指導を行う。また、日常生活で必要とされる様々なルールや常識等の理解、あるいはそれに基づいた行動が困難な場合があるので、実際の場面を想定し、行動の在り方を考えることができるようにする。</p> <p>③-1 校内環境のバリアフリー化 ・放送等の音声情報を視覚的に受容することができる校内環境を整備する。</p>				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と適切なコミュニケーションができる。 ・聞こえないことによる危険の回避、対処ができる。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇病院耳鼻科（〇〇医師：6ヶ月に1回受診、生活面での助言） ・特別支援教育巡回相談（担当〇〇：年2回、指導の手立ての助言） 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇小学校】

学年・組	4年 〇組	本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字練習や算数に熱心に取り組み、ほぼ理解している。 集団行動ができる。 体力づくりに積極的に取り組んでいる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 本人の発音が不明瞭であり、コミュニケーションに支障が出てきている。 補聴器の電池がなくなってもそのままにしていることがある。 指示を聞き、落ち着いて行動できるが、集中が続かないことがある。 		
短期目標 (期間：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 正しい発音を身に付け、コミュニケーション能力を高める。 正しく補聴器の取り扱いができる。 日常生活での危険回避能力を身に付ける。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 口の形や舌の動きを練習しながら正しい発音の理解を深める。 語彙を増やしたり、話し方の練習をしたりする。 場所や状況に応じて聞き取れなかったときに自分から聞き直すことができるように、話し方の練習をする。 友達と関わる機会を設定する。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池がなくなったことに気付き、知らせることができるようにする。 汗をかいたときに補聴器をふいたり、耳の周りを清潔にしたりする仕方を覚える。 <p>目標3について</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の生活音に留意できるようにする。 危険な場所場面での環境音を聞き、それに応じた行動や対処方法を学習する。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 発音が良くなってきたことや自分の言い間違いや相手の言葉の聞き逃しなどが減り、コミュニケーションが円滑に行われる場面が多くなってきた。 聞き取れないときには、近くの友達や教員の支援を受けながら学習に取り組むことができた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 時々補聴器を外してふくようになってきた。 <p>目標3について</p> <ul style="list-style-type: none"> 遮断機の音や車の警笛に注意を向けられるようになってきた。草刈り機や避難訓練のサイレン音などの危ない音の理解については引き続き学習が必要である。 		
作成者	学級担任：	特別支援教育コーディネーター：	

個別の教育支援計画

【〇〇小学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	5年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・読書することが好きで、知識は豊富である。 ・パソコンを使った学習が好きで、調べ学習やパソコン教材での学習に進んで取り組む。 ・リコーダー演奏が得意である。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・放送から流れるクラシック以外の音楽が苦手である。 ・長時間話を聞くことが苦手である。 ・みんなの前で話すことや、集団活動に参加することが苦手である。 ・肥満傾向のため、マラソンをすることが苦手で歩行もゆっくりである。 			
本人・保護者の願い	本人	・友達や教員に挨拶することをがんばりたい。			
	保護者	・自発的に人と関わることはあまり見られないが、周りの状況にも気付いてほしい。			
合理的配慮	①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮 ・視覚を活用した情報を提供したり、補助具を効果的に利用したりする。 ①-2-3 心理面・健康面の配慮 ・自己の特徴や対処法を理解し、不安感や孤独感を解消して自己肯定感を高めることができるようにする。				
長期目標 (期間：2年)	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことを質問することができる。 ・適切な人との関わりを身に付ける。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇病院（〇〇医師：定期通院、学校や生活面での助言） ・デイサービス〇〇（担当〇〇：週2回） ・相談支援専門員・デイサービス・保護者・学級担任の合同連絡会（長期休業毎に） 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇小学校】

学年・組	5年 〇組	本人 ^{かりがな} 氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな本や図鑑を見ていると静かに過ごすことができる。 図書委員会では忘れずに係活動を行い、好きなパソコン操作をしながら本の貸し出しや返却を行っている。 理科や社会の学習では自分の経験に関連させて考えることができる。 <p>つまずいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 放送等で音楽が流れると耳をふさぐため、動きが止まって作業ができなくなる。以前はイヤーマフを利用していたが、暑いなどの理由で装着しないことが増えている。 勝ち負けにこだわり、負けそうになると感情のコントロールができなくなる。 空想にふけっていたり、目を閉じて歩いたりしているため、話を聞いていないことや人にぶつかりそうになることがある。 集団の中では緊張するために、適切な行動や場に応じた話し方が難しくなることがある。 		
短期目標 (期間：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 見通しをもちながら学習や活動に最後まで取り組むことができる。 勝ち負けにこだわらずに、友達と仲良く遊ぶことができる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習や活動内容を事前に知らせて、流れや終わりが分かるようにする。 集団活動は、適切な行動や約束が視覚的に分かるツールを用意し、必要に応じて提示する。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝つこともあれば負けることもあることを確認してから活動する。 負けたときの気持ちの表し方を知り、その場に合った表現ができるようにする。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習や活動の流れが分かると、落ち着いて参加することができた。 活動時間が長くなると集中力が途切れてしまうことがあったため、定期的に行っていることを称賛することで最後まで参加することができた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に「負けることもある」ことを確認しても、実際に負けると泣くことがあった。 泣きながら自分からその場を離れてクールダウンして、数分で戻ってくることもあった。 		
作成者	学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____		

個別の教育支援計画

【〇〇中学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学年・組	2年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画については、詳しく知っている。 ・決められたこと(校則・宿題・係活動など)は、忠実に守ることができる。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・負の計算や文字式が苦手である。 ・集団の雰囲気や指示の内容を理解しながら単独で行動することが難しく、しばしば不安を訴え、活動に参加することが難しいことがある。 ・自分の短所を自覚したり、失敗したりしたとき、自責の言動が見られる。 			
本人・保護者の願い	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを落ち着けて学校生活を送りたい。 ・中学校卒業後の進路は、公立高校への進学を希望している。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・本人ができることを増やしてほしい。 ・本人の負担にならない程度に、協力学級での共同及び交流学习の機会を設けて周囲との人間関係を学ばせたい。 ・公立高校へ進学してほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を示したり、変更点はメモを渡したりして視覚的に分かりやすく提示する。 <p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の精神的負担にならないよう授業進度及び内容を調整する。 ・家庭学習で取り組む内容は本人の負担にならない程度にする。 <p>①-2-2 学習機会や体験の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等、集中してできるよう別室で受けることができるようにする。 <p>①-2-3 心理面・健康面の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過度の緊張のため、休憩を申し出たときは許可する。 <p>②-2 児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本生徒の特性を理解してもらうために、周囲の生徒や教職員へ理解啓発の機会を設ける。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた環境で学習ができる。 ・行事などを通じて周囲との関わり合いを学び、集団活動に参加できる。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇病院（〇〇医師：定期通院 学校や生活面での助言、服薬有り） 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇中学校】

学年・組	2年 〇組	本人 ^{きりがな} 氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からない課題であっても落ち着いて取り組むことができるようになってきている。 ・自責の言動が昨年より減少してきている。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不安になったとき、自責の言動が見られ、立ち直るまでに時間がかかる。 		
短期目標 (期間：1年)	1 不安になったとき、自責の言動に至る前に自分の気持ちを言葉で表現できる。		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の感情を表現する学習の場面を設定する。 ・列に並ぶ場所は、集団の後方にする。 ・不安になったとき、いつでも気分転換できるよう一人になれる空間の確保や支援できるよう近くに教員がいる。 ・保護者の同意を得た上で必要があれば周囲の生徒へ本人の特性を伝える。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の感情を表現する言葉の学習に取り組んだ結果、周囲の行動についていけないことや強い不安を感じることを教員に伝えることができた。しかし、ごくまれに強い不安を覚えてしまい、集団から離れて気分転換の空間の確保が必要になる場合があった。今後も近くで支援できる教職員や集団から離れた場所の確保が必要である。 ・集団活動は、本人の不安解消のため、取組内容を事前に予告することで学習に取り組むことができた。 ・年度初めに協力学級の生徒へ本人の特性を伝えることで、同じグループの生徒は、受け入れる雰囲気を作り、本人生徒も一緒に活動に取り組むことができた。 		
作成者	学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____		

個別の教育支援計画

【 ○○特別支援学校 】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学部・学年・組	小学部 1年 ○組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・同年齢の友達と遊ぶのを楽しみにしている。 ・慣れた場所では、伝い歩きで目的地まで移動できる。 ・余暇はDVD鑑賞をして過ごすことが好きである。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての活動に抵抗感を示し、意に反すると応答しないことがある。 ・援助依頼するまで時間がかかり、言葉掛けを待っていることが多い。 			
本人・保護者の願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・点字が読めるようになりたい。 ・いっぱい体を動かしたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・点字を少しでも多く覚えてほしい。 ・体力を向上させたい。 ・自分の意志をはっきりと伝えるようになってほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・触察（触って観察する）による読み取り時間を十分確保する。 <p>①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞くことで内容が理解できる音声CDやICT機器を活用する。 <p>①-2-2 学習機会や体験の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物や模型に触る等の機会を多く設け、気付きにくい事柄や理解しにくい状況を説明する。 <p>①-2-3 心理面・健康面の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの状況が分かりやすい環境作りや自信をもって尋ねられる雰囲気作りをする。 ・学部の合同活動や交流及び共同学習を計画し、同年齢の児童と関わる機会を設定する。 				
長期目標 (期間:3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・触察、点字、歩行等の基本的な技術を身に付け、生活の中で生かすことができる。 ・自分の考えを相手に伝えたり、必要に応じて援助を求めたりすることができる。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・○○眼科受診（○○医師：定期通院） ・○○病院小児科（○○医師：定期通院、服薬有り） 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【 ○○特別支援学校 】

学部・学年・組	小学部 1年 ○組	本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人と挨拶を交わすことができる。 ・点字学習に意欲的で、点字6文字（ア・イ・ニ・ナ・カ・メ）の弁別ができる。 ・伝い歩きで体育館やプレイルームへ自力移動できる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めての人との関わりでは、緊張することがある。 ・意味を理解していない言葉を使って話していることがある。 ・自分から好きな遊びをすることはあまり見られないが、誘いには応じる。 		
短期目標 (期間：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 1 学年相応の点字の読み書きができる。 2 学習や集団活動の場面で、自分の気持ちや考えを発言できる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正して両手読みの動作を行うようにし、行・行間のイメージを形成できるようにする。 ・前半マスと後ろ半マスの縦の棒や点のイメージを文字として読み取るようにする。 ・点字タイプライタのキーを押す指とそれによって書ける点との対応を確認するようにする。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自発的な活動を引き出すために、教室環境を整える。 ・体験的な活動を多く取り入れ、言葉や行動の意味が理解できるようにする。 ・発表の仕方や分からないときの伝え方を具体的に知らせ、様々な場面で体験を積めるようにする。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導では、他教科との関連を図りながら点字に関する読み書きの学習を重視することにより、清音の読み取りができるようになった。書きの学習においては、点字タイプライタを用いて簡単な文を書くことができるようになった。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会で発表する機会を設定し、発表の型を決め、「いつ・どこで・だれと・何を・どうした」の順に発表するようにしたことで、「昨日の出来事」を発表できるようになった。また、分からないときは「分からないです」と伝えることができるようになってきた。 		
作成者	学級担任：	特別支援教育コーディネーター：	

聴覚障害 中学部1年生（特別支援学校）のケース
--

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の教育支援計画

【〇〇特別支援学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学部・学年・組		中学部 1年 〇組	
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・運動全般、特に格闘技を好む。 ・歴史が好きで、安土桃山時代から江戸時代までの武将をよく知っている。 ・料理が好きで、休みの日には家族の昼食を作ることもある。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・数学が苦手である。 ・英語の発音に苦慮している。 ・部屋の掃除や整理整頓が苦手である。 			
本人・保護者の 願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強を頑張りたい。 ・大学に進学して、会社に勤めたい。 ・運動してもっと体力を向上させたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な常識や学力を身に付けてほしい。 ・県立高校から大学へ進学させたい。 ・中学校との交流及び共同学習をさせたい。 			
合理的配慮	<p>①-1-1 学習上または生活上の困難を改善・克服するための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞こえにくさを補うために補聴器等の効果的な活用を促す。 ・聴覚を活用させ、円滑なコミュニケーションを図ることができるように、手話・指文字を状況に応じて用いる。 <p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験などにおけるヒアリング、聞き取り問題は、文字による代替問題を提示する。 <p>①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口元が見えるように座席の位置や話者の位置等に留意する。 ・視覚的に捉えやすい教材の活用や分かりやすい板書をする。 <p>②-1 専門性のある指導体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳鼻科医、補聴器店から適切な助言や情報を得て活用する。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・予習や復習の習慣を身に付け、意欲的に学習をすることができる。 ・先輩や友達との関わり、身近な体験や事柄から社会性を広げる。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇補聴器 (担当〇〇：補聴器購入) ・〇〇大学附属病院耳鼻咽喉科 (〇〇医師：6か月に1回定期通院) ・〇〇市立〇〇中学校 (担当〇〇：居住地校交流、情報共有) 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

年 月 日 保護者氏名

㊞

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【 ○○特別支援学校 】

学部・学年・組	中学部 1年 ○組	本人氏名 <small>（フリガナ）</small>	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決めたことや目標に向かって努力している。 ・体を動かしての遊びや運動をしている。 ・分からないことを先輩から教えてもらったり、友達と協力したりして活動することができる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手なことや自信がないことには消極的になる傾向がある。 ・準備や整理などをせず、即座に行動しようとすることが多い。 ・内容を理解できなくても教員に確認することなく、自分なりに解釈して済ませてしまう傾向がある。 		
短期目標 (期間: 1年)	<ol style="list-style-type: none"> 1 学力の向上を目指し、予習や復習の仕方を身に付ける。 2 物事を進めるときは友達と意見を出し合って協力し、苦手なことにも自ら取り組むことができるようになる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習や復習の仕方を具体的に提示し、自分で学習できるようにする。 ・取り組みやすい学習の仕方や方法を一緒に考える。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースや身近な体験などを発表する機会を増やす。 ・交流及び共同学習をとおして体験や社会性を広げる。 ・周囲の生徒の発言を本人が理解しているか、また、本人の発言を周囲の生徒が理解しているか必要に応じて、確認する。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の仕方を教員に確認するとともに週ごとの計画を立てることにより、学習の定着につながっている。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から発表しようとする姿勢が多くなってきた。 ・交流及び共同学習で体験したことに関心を持ち、友達に話すようになった。 		
作成者	学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____		

知的障害 高等部1年生（特別支援学校）のケース

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の教育支援計画

【〇〇特別支援学校】

ふりがな 本人氏名		性 別		生年月日	
保護者氏名		学部・学年・組		高等部 1年 〇組	
住 所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校ではバスケットボール部に所属した経験があり、運動、特に球技が好きである。 ・示範を見ることで活動内容を理解できる。 ・畑作業で天地返しや畝立てなどをしたり、電動工具を安全に使うことができる。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・作文や会話では助詞の使い方が間違っていることがある。 ・お金や時間の計算が苦手である。 ・善悪の判断が不確実なときがあり、友達の影響を受けやすい。 ・家事の経験はほとんどなく、料理や洗濯、掃除など一人で行うのは苦手である。 			
本人・保護者の 願 望	本 人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労したい。大工になりたい。 ・自分の給料で家族と一緒においしい物を食べたい。 ・車の運転がしたい。 			
	保 護 者	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労してほしい。 ・お金の管理ができるようになってほしい。 ・将来は親元を離れて暮らしてほしい。 ・善悪の判断ができるようになってほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読める漢字を増やすために、本人への配付資料はできるだけ漢字を使い、振り仮名を付けて配付する。 ・プリント学習だけでなく、実物を操作したり、ICT機器を使用したりして、理解促進を図る。 <p>①-2-2 学習機会や体験の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除機の使用やレトルト食品での調理など、一人でできる家事を多く経験する。定着を図るため、短期間に複数回設定する。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労に必要な力（態度や集中力、コミュニケーション力など）を身に付ける。 ・家事や社会生活に必要な事柄を一人でできるようになる。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後デイサービス〇〇（担当〇〇：水曜日利用、情報や手立ての共有） ・相談支援事業所〇〇（担当〇〇：サービス利用計画、情報の共有） 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

年 月 日 保護者氏名

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇特別支援学校】

学部・学年・組	高等部 1年 〇組	本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事を途中で諦めることなく、最後までやり遂げることができる。 ・誰に対しても分け隔てなく優しく声を掛けたり、活動に誘ったりすることができる。 ・教員からの急な依頼にも、快く引き受けることができる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達からの依頼を安請け合いしてしまうことがあり、保護者の許可なく物品のやりとりやお互いの自宅で遊ぶことがある。 ・理解できていなくても「はい。分かりました」と答えてしまうことがある。 		
短期目標 (期間：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動の報告を忘れずに行ったり、援助依頼ができるようになったりする。 2 調理で使用する道具や器具の使い方を理解し、安全や衛生に気を付けて調理をすることができる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示を出した後に、指示の内容を話してもらい、理解できているか確認する。理解できていないときは「分からなかったので、もう一度説明してください。」と言っていいことを伝え、促す。 ・働くために必要な力について具体的に教える。また、それぞれの力が備わっているか、自己評価や他者評価をして確認する。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で作った料理を家庭にも伝え、自宅でも作る機会を設定する。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係活動や作業学習では、活動ごとに忘れずに報告することができた。また、産業現場等における実習の実習先評価を受けて、報告だけでなく「次は何をやればいいですか。」と答えることがきるようになった。 ・年度当初は説明の内容が理解できずに困っていることがあったが、困ったり分からなかったりしたときには、近くの教員に言葉で伝えることができるようになってきた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初はガスコンロや電子レンジの使用を怖がっていたが、慣れると一人でお湯を沸かしてカップラーメンやレトルトのカレーを作って食べるすることができた。調理後は、忘れずにガスの元栓を閉めるようになった。また、休日には自宅でも一人でカップラーメンを作ることが複数回あった。 		
作成者	<p>学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____</p>		

個別の教育支援計画

【〇〇特別支援学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学部・学年・組	高等部 2年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子で30m程度移動することができる。 ・友達や教員と話をすることが好きで、特定のテレビゲームやアニメについて話題にしている。 ・学級内で司会や発表を率先して行うムードメーカーである。 ・平仮名や数字を読むことができる。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな話を繰り返すことで興奮し、興奮しすぎると発作を誘発することがある。 ・体幹を支える力が弱く、左側に崩れることが多い。 			
本人・保護者の 願 望	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい学校生活にしたい。 ・新しいことに挑戦したい。 ・余暇を楽しみたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・困った場面で具体的に依頼できるよう語彙を増やしてほしい。 ・生活していく上で、一人でできることが少しでも多くなればほしい。 ・働けるようになってほしい。 			
合理的配慮	①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮 ・左利き用のはさみや定規などの道具等を準備する。 ①-2-3 心理面・健康面の配慮 ・疲労が蓄積したり興奮したりすると発作を起こすことがあるため、必要に応じて休憩時間や 落ち着いて過ごせる時間を確保する。 ②-1 専門性のある指導体制の整備 ・理学療法士から身体の使い方や体操の仕方の助言を活用する。				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して作業に取り組むことができる。 ・周囲の人と会話を楽しむことができる。 ・興味のあることを増やし、充実した余暇を過ごすことができる。 				
関係機関との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇クリニック（〇〇医師：定期的な通院、服薬有り） ・〇〇医療福祉センター（〇〇理学療法士：週1回の訓練、身体面の助言） ・〇〇デイサービス（担当〇〇：週3回、情報共有） 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇特別支援学校】

学級・学年・組	高等部 2年 〇組	ふりがな 本人氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで1人学級であったが、今年度、学級の仲間が増えて、楽しそうに関わっている様子が見られる。 ・興味のあることや伝えたいことを積極的に伝えようとする姿勢が多く見られる。 ・手指を使った作業活動は集中して取り組むことができる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙が少なく、なかなか友達に話している内容が伝わらないことがある。 ・作業活動中、報告することを忘れていたり、依頼することができなかつたりして活動が止まってしまうことがある。 ・作業をする活動では、姿勢が崩れることにより、はさみで切ったり、定規を使って線を引いたりすることが難しくなる。 		
短期目標 (期間:1年)	<ol style="list-style-type: none"> 1 様々な活動の中で自分から援助依頼や報告ができる。 2 自分から姿勢を直し、両手を使った作業を継続することができる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シートを準備し、活動前に目標を確認できるようにする。また、活動後に自分で評価できるようにする。 ・自分から援助依頼や報告ができたときは称賛する。また、友達の様子から学ぶことができるよう、学級全体でお互いに認め合う機会を設定する。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢が崩れたら直すことを表示したカードを見える位置に置き、自分から気付くことができるようにする。 ・休憩時間は、体の緊張を緩和する運動をする。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の報告や依頼の様子を見ることから語彙が広がり、また、進んで報告しようとする姿勢が見られるようになってきた。 ・報告を忘れてしまうこともあるが、名前を呼ばれることで気付き、報告することができるようになってきた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初は、姿勢を直すことを表示したカードを教員が指し示していたが、次第に、自分から姿勢を直すことができるようになってきた。姿勢が崩れないようになってきたため、作業を継続して取り組むことができるようになってきた。 		
作成者	学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____		

病弱
中学部 1 年生（特別支援学校）のケース

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の教育支援計画

【〇〇特別支援学校】

本人氏名		性別		生年月日	
保護者氏名		学部・学年・組	中学部 1年 〇組		
住所	(TEL)				
生活の様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> ・歌が好きでクラスのお楽しみ会などで披露することができる。 ・美術や家庭科が好きで、積極的にアイデアを出し作品を作ることができる。 ・パソコンやタブレット端末の操作が得意で、必要な情報を調べることができる。 			
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・食事療法が必要であることは知っているが、栄養に関する知識不足や好き嫌いが多いため、偏った食事になりがちである。 ・視線が気になり、集団活動では不安になり気持ちが落ち着かなくなる。 ・活動量が多かったり、寝不足で疲れていたりすると、気持ちが不安定になる。 ・漢字への苦手意識が強く、平仮名で書くことが多い。書字に時間がかかる。 			
本人・保護者の願い	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメイトに優しくしたい。 ・みんなと一緒に勉強したい。 ・将来は、介護の仕事をしたい。 			
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の状況に合わせた言動がとれるようになってほしい。 ・体調が良いときには、勉強に取り組んでほしい。 			
合理的配慮	<p>①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやデジカメ等を活用し、書字の負担を軽減する。 ・食事内容表の活用により、自分の食事内容を振り返られるようにする。 <p>①-1-2 学習内容の変更・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動量を調整したり、本人が内容を選択する場面を設定したりして、意欲的に活動に取り組めるようにする。 ・ワークシートの活用により、書字や学習の量を調整する。 <p>①-2-3 心理面・健康面の配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて休憩時間や落ち着けるスペースを設ける。 				
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体に合った食事内容を理解し、食事を適切に摂ることができる。 ・自分で工夫しながら、メモや写真などで大事なことを記録できるようにする。 ・対人関係スキルを身に付け、集団活動に参加することができる。 				
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇病院（〇〇医師、月1回定期通院、服薬あり） ・放課後等デイサービス〇〇（担当：週2回利用、情報共有） 				
作成者	学級担任：		特別支援教育コーディネーター：		

年 月 日 保護者氏名

作成日	年 月 日
評価日	年 月 日

個別の指導計画

【〇〇特別支援学校】

学部・学年・組	中学部 1年 〇組	本人 ^{ふりがな} 氏名	
学校生活の様子	<p>うまくいっているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手芸が好きで、作品を作ることにより気持ちが落ち着く。 ・美術、技術家庭科の制作活動など、自分からアイデアを出し積極的に取り組むことができる。 ・穴埋め式のプリントに意欲的に取り組んでいる。 ・定時の薬を忘れずに飲むことができる。 <p>つまづいているところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出した際の食事で、カロリーや油分の多い食事を制限なく食べてしまう。 ・記述する量が多いと、ノートに書き写すことをやめてしまう。 ・集団活動では気持ちが不安定になったり、感情的な言動になったりする。 		
短期目標 (期間：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分の体に合った食事内容が分かる。 2 タブレット端末を活用し、ノートをまとめたり文章を書いたりすることができる。 3 不安になったときに気持ちを落ち着かせることができる。 		
手立て	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携して毎日の献立を記録し、1週間ごとに食事内容を振り返るようにする。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書を撮影し手元で見て記述したり、家庭での学習に活用したりすることができるようにする。 ・長い文章は、ワープロソフトを使用し書字の負担を軽減する。 <p>目標3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不安な気持ちを落ち着かせる方法を教員と考え、自分に合う方法を試してみる。 ・個別に面談する機会を設けて困り感を聞き取り、集団場面での参加方法や目標を共有する。 		
評価	<p>目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭でのメニューについては、保護者にも確認してもらうことで正確に記述し、自分の体に合った食事内容になっているか定期的に振り返ることができた。 <p>目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述が間に合わない場合は、板書を撮影し、画像を手元で確認したり、家庭学習でノートにまとめたりといった使い方ができるようになってきた。ワープロソフトを使うことで、作文や日誌などの文章を書くことに意欲的に取り組むことができた。 <p>目標3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不安になったときに、10秒数える方法を試した。10秒数えることで、感情的に友達に話すことが減った。不安が強いときには、保健室へ行き、養護教諭に促されて頓服薬を服用することができるようになった。また、昼休みに手芸を行うことで、気持ちを切り替え、午後の学習に取り組めることが増えた。集団での行事は依然として苦手意識があるものの、会場の後ろに座って参加することができるようになってきた。 		
作成者	学級担任： _____ 特別支援教育コーディネーター： _____		

